

【兵庫県立図書館企画展示】

エネルギーを考える

わが国は世界第3位というGDPを誇りながら、これを生み出すエネルギーの大半を輸入に頼っており、そのほとんどは石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料となっています。

加えて、東日本大震災およびその後の東京電力福島第一原子力発電所の事故により、エネルギー供給システムの脆弱性が明らかとなりました。国が大きな政策転換を迫られるなか、自治体や地域からエネルギーを考えることは可能でしょうか。

新エネルギー、再生可能エネルギーについて考える資料を、種類ごとに紹介します。



【太陽光発電の事例】

阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター（出力 200kW）

人と防災未来センターでは、太陽光発電による電力を、館内の照明電力として使用。また、夜間は蓄電による電力で、ガラス張りの建物全体にイルミネーションを点灯している。年間発生電力は約19万kWh。

経済産業省資源エネルギー庁 HP より

期 間：2013年7月19日(金)～9月18日(水)

場 所：兵庫県立図書館 調査相談室

時 間：午前9時30分～午後6時

休館日：毎週月曜日、第3木曜日